

製品名: ラミン A/C (リン酸化 Ser392) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04936**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 74kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | LMNA |
| 別名 | LMNA; LMN1; Prelamin-A/C |
| 遺伝子 ID | 4000.0 |
| SwissProt ID | P02545 |
| 免疫原 | 抗血清は、Ser392 のリン酸化部位周辺のヒトラミン A/C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410 |

背景

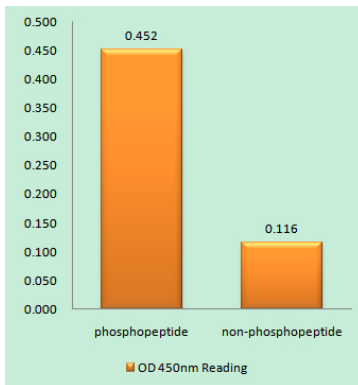
ラミン A/C ラミンは、フィラメント状の網目構造を形成する中間径フィラメントタンパク質であり、核膜の核質側にある繊維状の層

である核ラミナの主要成分を構成しています (PubMed:10080180、PubMed:10580070、PubMed:10587585、PubMed:10814726、PubMed:11799477、PubMed:12075506、PubMed:12927431、PubMed:15317753、PubMed:18551513、PubMed:18611980、PubMed:2188730、PubMed:22431096、PubMed:2344612、PubMed:23666920、PubMed:24741066、PubMed:31434876、PubMed:31548606、PubMed:37788673、PubMed:37832547)。

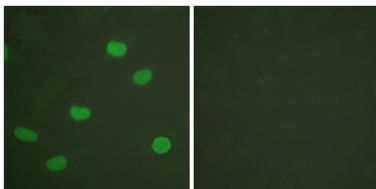
研究分野

肥大型心筋症 (HCM) ;不整脈性右室心筋症 (ARVC) ;拡張型心筋症;

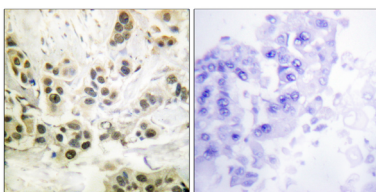
画像データ



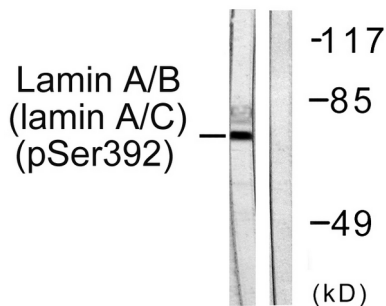
ラミン A/C (リン酸化 Ser392) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



ラミン A/C (リン酸化 Ser392) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



ラミン A/C (リン酸化 Ser392) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



ラミン A/C (リン酸化 Ser392) 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。